

SPIT'EM OUT! "it's absolutely raw"

This paper gives you all hip hop beats, the real words from the real scene...

feature interview

DJ WATARAI

“自分の好きな音楽を探するという事がDJとして絶対必要”と語るDJ WATARAI。
毎週金曜日 [The Finest] へ新たにレギュラーとして正式に加入し、ますますプレイは冴え渡る!

■10月から金曜日 [The Finest] にレギュラーDJとして参加する事になりましたが、最初にオファーされた時の率直な感想は?

率直に言うと「何で?」って(笑)。[The Finest]はスタートして1年くらい経ってるし、それまで1~2回位しか遊びに行った事がなかったから、金曜日の気持ちっていうのがよく分かってなかったし。火曜日の [HONEY DIP] が終わって、その後土曜日に入って2年位やってきて、「何でオレが金曜日に入るんだろ?」って思いました。

■実際にプレイをしてみたの感想は?

KEN-BO君と一緒にDJをするのは、渋谷CAVE以来なので10年振り位なんです。その間にもDJは聴いていたけど、10年間で絡んだ事が多分1、2回しかないから、並んでDJをするのはホントに久しぶりで、もう10年経ってるし、当時CAVEでやっていた時のイメージはあんまりないから、始める前はどうか絡んで行こうかと思ってたけど、KEN-BO君は良い意味で昔のスタイルから変わらないというか、KEN-BO君のカラーはKEN-BO君のカラーで10年経っても守られているから、実際にやってみたらCAVEをやっていた時の雰囲気と近くて、思っていたよりもやり易かったです。

■心がけようと思っている事は?

金曜日1年かけてお客さんが育つてくると言うか、KEN-BO君は昔からあまり人がかけないような、いい曲を上手くクラブプレイの中に入れていく人で、そのプレイに対してお客さんの反応が凄く良い。例えばアルバムのシングルになっていないような曲で、DJの人ですらまだチェックしていないような曲をいち早く取り入れて、それが良かった時にお客さんが「おっ、あの曲かかった」みたいな反応があったりしたから、耳が肥えていて、音楽に対して貪欲なお客さんが多い感じがしたので、そういうお客さんが「あっ」と思うような曲も自分なりに探しつつ、あんまり毎週似たような雰囲気とか、月並みなプレイにならないようにしようかなとは思っています。

■DJ KEN-BOと共に今後 [The Finest] をどのようなパーティーにしていきたいですか?

火曜日 [HONEY DIP] は平日感のあったパーティーだったし、土曜日 [NO DOUBT] は週末っぽいパーティーだし、金曜日は週末であり平日でもあるという所で、週末感も出せて、平日っぽく平日にしか出来ないような事も盛り込めたい感じが良いんだと思う。そういう意味でKEN-BO君はその辺の組み立てが凄く上手くて、週末っぽく盛り上げる所もちゃんとあったり、あまりみんなが普段かけないような曲も新旧問わずプレイの中にちゃんと入っていて、構成もしっかりしているような、平日っていうと変だけど、ちょっとコアなお客さんもニヤっとするようなプレイをしていて、KEN-BO君一人でもその辺のバランスが元々出来ているんですよ。そこに更にオレが入る事によって単純にマイナスにならないように、オレが入ってさらにそういうものもがうちょっとプラスされるようにしなければなりません。

今一番大切なのは、オレが新しい風を吹かすというよりは、KEN-BO君と連携が取れて、一晩上手くまとめられるのが良いかなと。あんまり気を使ってというのではなく、お互い自分の好きなプレイをしつつ、それが徐々に微調整が取れていって、お互いの連携が取れるようになったら、それが一番良いんじゃないかなって思っています。

■プレイ面で意識している事はありますか?

まだ始めたばかりだから分からないけど、何となく慣れてきて、最初は色々な事を試してみても、そこから段々金曜日の HARLEM でしか出来ない自分のプレイが出来てくると思うんですよ。オレが金曜日に入って今気にしている事やバランスだとかを考えると、今まで来た頃に、自然にそういうオレの風みたいなのが吹けば良いかなと。今は色々実験的に何でも。KEN-BO君が実験的にやってるのとは分からないけど、とにかく毎回面白い組み合わせのDJで、ミドルスクールに関してマイアミからニュージャックスウィングもかかるし、80'sもかかるし、昔夢中で聴いて踊っていたような曲でホントにここ10年クラブでも自分

でもかけた事ないような曲が上手く入ってたりすると「ヤラレた」って思って、「オレもやろう」みたいな(笑)。オレもオレなりに考えて、新譜から旧譜に関しても色々掘り起こしてみたりとか。元々80'sとかオールドスクールとかあんまり持っていないので、そういう旧譜でも金曜日にかけてほしいような曲で、オレのプレイに盛り込めそうな曲であればどんどん仕入れつつ、自分の家のレコードの棚も掘りつつ、気が付いたら金曜日のオレはこういう感じなんだよ、みたいなのが出来るかと最高かなと思っています。

■HARLEMに限らず、色々な所でDJをしていて、今クラブシーンについて何か感じる事はありますか?

オレだけに限らずの話をする、メインストリームの音楽が変わってきて、どうしても自分のプレイのハードルを下げざるを得ない状況が続いていて、そこでハードルを下げちゃってる部分もあって、そういう視線でやってきたツゲが来ているような気がする。例えばオレがビルボードヒットだけとか、月並みなプレイばかりしていると、若い子もそういう事しなくなってくるから。オレが19、20歳でDJをやりたいって思ってた時は、ハードルが高いDJがいっぱい居て、そういう人達のプレイを見て育って来たんだけど、やっぱり色々なジャンルで、新旧問わず良い曲は自分で探す作業というのを、最近上手い事若い人達に見せられてなかったとオレは思うのね。そういう意味で若い人達にとって、オレがもうちょっと刺激になれるような事をしていかなければダメだと思うんですけどね。これからはずっと今までみたいに、ハードルを下げていこうかなってプレイをする、オレ自身DJとしての先がないし、オレみたいなDJを使っているイベントとかクラブも不安も出てきちゃうだろうし。クラブあってもDJという所で、そういうのをまたゼロから作り直していかなければと感じています。ここ3、4年で積んでしまった積み木をいったん崩して、また積み直さないとイケないと感じています。

■DJ WATARAIから見た、若いDJに対してのアドバイスは?

若い頃って新しい音楽に対して絶対にアンテナが強いからかもしれないけど、流行ってるから、盛り上がるからかけるという感じじゃなくて、DJの人達がそれぞれ良いなと思った物を取り入れて、その人らしい世界みたいな物が作れるようになれば良いと思う。ただ、そこまで今の若い人のDJを全部聴いている訳じゃないから全然わからないし、オリジナリティを持っている若いDJも大勢いるから、そういう人達も他の若い人達に対して刺激になってくれるだろうし、特にオレが今更言う事もないんだけどね。

DJで大事な事って、もちろんフロアでDJをする時は盛り上げる事も必要だから、誰もが知っているような曲をかけて盛り上げるのも絶対に必要な事だし、ちょっとコアなお客さんもニヤっとするようなプレイをしていて、KEN-BO君一人でもその辺のバランスが元々出来ているんですよ。そこに更にオレが入る事によって単純にマイナスにならないように、オレが入ってさらにそういうものもがうちょっとプラスされるようにしなければなりません。

■それはWATARAIさんも心がけて実践してる事ですか?

うん、実践しようかなと(笑)。「自分の好きな音楽を探す」という事がDJとして絶対必要な第一段階だから。もちろん技術的な事も大事だけど、それが一番大事で、さらに良い技術力と構成力がプラスされれば最高なDJですよ。それと現場の判断力があれば誰も勝てないDJになれますね。

■制作とクラブプレイの比重は?

気持ちの中では半々なんですけど、制作に関しては、今そんなに仕事がないので、金曜日が始まったから自然と比重はクラブプレイに傾いている感じがするかな。他のイベントと優越つけるのは嫌だけど、一応レギュラーって事になっちゃったら、どうしてもそこを一番に考えちゃうんですよ。今はそういう事で比重が多いし、普段考える事ってクラブプレイの事ばかりだから。気持ちの中では半々なんですけど、定期的な事もあると思うけど。

■制作と現場を上手くリンクさせる為には?

クラブシーンと邦楽のHIP HOPやR&Bのシーンっ



てリンク出来てないっていうか、オレのトラックを聴いてクラブに来たとか、オレのプレイを聴いて曲もやってくるから聴いてみたくなったとか、そういう風に思ってくれているかどうかは最近あんまり実感がありません。オレの中でまだ全然別物。オレが自分で作った曲とかを自分のレギュラーパーティーでかけて、それがパーティーの看板になる曲になったら面白いですよ。[HONEY DIP] の頃はそういうのが出来てた気がするけど、最近は全然離れちゃってるよね。

■何故だと思いませんか?

それはね、現場でかけられるような曲を作れないオレが悪い(笑)。「HONEY DIP」の時は、HASEBE君がやっていたSUGAR SOULとかの曲を作って、本人も来てライブをやったりとか、上手い連携が取れてたよね。そうするとライブをやらなくても、その曲をかけるのとフロアが盛り上がりやすかった。あれは良かったですよ。今はあんまりそういうのはないよね。どうしてか分からないけど。

あの頃は丁度日本のHIP HOPやR&Bのシーンが盛り上がりつつあって、それが上手い事クラブシーンとリンクしたんだよね。今は日本語をちゃんと聴いて、そういうのが好きでクラブに来ている人が少ないような気がする。今すぐにはちょっと難しいかもしれないけど、またああいうのが出来ると面白いよね。そういうのがあると日本らしいし、日本でしか出来ない事だからね。

■日本のDJのプレイは、海外のDJと比べて繊細だと言われる事がありますが、どう思いますか?

日本のDJってまずリリックがあんまり分からないし、日本人が洋楽聴く時にわざわざ歌詞を見ながら聴いている人ってそんなに居ないだろうし、聴きながら歌詞を理解している人は多分少なく、曲の雰囲気だけだから、トラックのメロディーだけで曲を選んだりするでしょ。要はトラックのメロディーとか雰囲気で組み立てている訳でしょ。だから繊細になるのは当たり前ですよ。

■WATARAIさんはリリックの内容はあまり気にしない方ですか?

うん、たまに気にするけど、それはあくまでプレイに盛り込む時に面白くなる場合だけ。結局それがお客さんに伝わらないと意味がないし。分かっている人は分かってくれるかも知れないけど。プレイをやる中でDJって常に入口と出口を見つながらプレイしてる訳だから、入口になったり出口になる時にリリックを聞きながら効果的になる場合はやる。基本はあんまり気にしないけど。

■12月8日にリリースされるMIX CD [ia presents HARLEM MIX SHOW Mixed by DJ WATARAI] について

今回はBMGから出るHARLEM MIX CDの第三弾で、BMG音源を使ったMIX CDを作るんですけど、基本的にiaが監修で、もちろん選曲は僕も関わっているけど、iaの女の子の視点から見た好きな曲を、僕から見た視点でMIXしたという、何か面白いMIX CDが作れたと思います。

■11月末にリリースされるHARLEM DVD第一弾 [HARLEM LIVE! LIVE!! LIVE!!!] の特典MIX CDもHARLEM RECORDINGS音源を使ってMIXして頂いたのですが面白かった所は?

日本語って事でリリック繋がりが出来たって所。日本語なんだけど、洋楽を使って作ったMIX CDと変わらない雰囲気は作れたかな。とりあえず聴いてみて下さい。

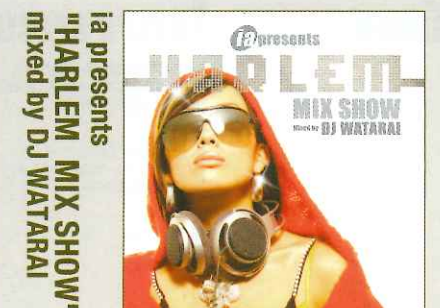
■最後に一言。

オレ的にはお客さんにとって魅力的なプレイが出来るように金曜日はやりたいんだけど、トータル的には金曜日は音楽もプレイも面白いし、とにかく遊んで面白いていう日になるのが一番良いかな。可愛い子もいっぱい居て、みんなで盛り上がると思うたらプレイもバッチリで、金曜日楽しいよねっていう日にしていきたいですね。

あんまりオレのプレイは凄くないから聴きにきよっていう押しつけがましい感じは好きじゃないから、クラブに来てみんなが楽しい日になれば良い。金曜はみんなが楽しい金曜日になります! ☺

※) [HONEY DIP]

HARLEMがオープンした1997年~2000年12月迄行われていた毎週火曜日のDJ HASEBE & WATARAIによるレギュラーパーティー。



'04.12.08 Instores
¥2,200 (Tax incl.) BVCP-24061
HARLEM RECORDINGS / BMG JAPAN